

平成25年7月28日
今週のベストショット



青松園A 三苦ホーネッツ 対 新町ウインズ戦
ホーネッツ四番三浦選手の3打数3安打2HR6打点等の活躍でホーネッツ快勝！
写真：三友クラブ 大坪和則

雁レク軟式5 三球会がライナーズ強力打線を封じ逃げ切る。

雁ノ巣ライナーズ（3勝2敗1分）001000 1 有馬●—鳥越

三苦三球会 （3勝2敗0分）10200X 3 吉留○—藤澤

盗塁：藤澤（三球会）

一回裏、三球会は一番塚孝彰選手がショートゴロエラーで出塁すると、送りバントで三塁へ。続く藤澤選手は四球を選び一死一三塁から四番塚太一選手のセカンドゴロの間に1点を先制する。対するライナーズは三回表、七番国崎選手がバントヒットで出塁し無死一塁のチャンス。ここで後続が2者連続三振に倒れランナーも一塁に釘づけとなるも、続く一番明瀬選手はしぶとくセンター前ヒット。守備がもたつく間に国崎選手は一気に本塁へ向い同点とした。その裏三球会は九番原口選手がショート内野安打で出塁すると続く一番小倉選手は四球を選び無死一二塁。二番渡辺選手が送りバントを決めランナーが二三塁に進むと三番藤澤選手の時にワイルドピッチで1点勝ち越し、さらに藤澤選手のセンターへの犠牲フライでもう1点追加し3-1とする。負けられないライナーズは四回、3四球で満塁の大チャンスを迎えるも決定打が出ず無得点。その後も三球会吉留投手に要所を抑えられそのままゲームセットとなる。ライナーズ有馬投手は三球会を内野安打1本に抑える好投を見せたが無念の敗戦となった。（記事、写真：ソルトベ이스ターズ 田中裕次郎）



試合前の両監督の握手。



一回裏、先取点へつながる三球会渡辺選手の送りバント。



バント処理のライナーズ有馬投手。



ファールボールを追うライナーズ久保田一塁手。



内野安打1本に抑えるも勝ちに恵まれなかった有馬投手。



難しいゴロを捌きアウトにしたライナーズ明瀬遊撃手。



強カライナーズ打線を1点に抑えた三球会吉留投手。



守っても好フィールドイングの三球会吉留投手。



三回表、一塁から長駆ホームインするライナース国崎選手。



三回裏、WPで2点目のホームを踏む三球会原口選手。



三回裏、3点目となる犠牲フライを打つ三球会藤澤選手。



ファールフライを拝み捕る三球会渡辺三塁手。

青松園A ホーネッツ打線が二回に爆発、試合を決める！

三苦ホーネッツ（4勝1敗） 3 13 4 0 0 2 0 井手○ー松尾

新町ウインズ（3勝4敗） 0 0 2 0 0 2 永瀨●ー今林

HR：矢野、三浦2、堺(三苦ホ) 3BH：広木(三苦ホ) 2BH：矢野(三苦ホ)

現在3勝同士の戦いとなった試合はホーネッツ井手投手、ウインズ永瀨投手の先発。一回表、ホーネッツは一死二三塁から四番三浦選手が左中間を破る特大の3ランで先制。そして二回表、九番堺選手がライトオーバーの2ランを放つと三番矢野選手もレフトオーバーの2ランを放ち4点追加。その後ウインズ永瀨投手は制球に苦しみスローピッチ投法に変えるがホーネッツ打線が手を緩めることなく連打を重ね、この回、一挙13得点を挙げる。三回もホーネッツは代打広木選手の三塁打、四番三浦選手が本日2本目となる2ランで4点を追加。その裏それまで沈黙を続けてきたがウインズは、九番田坂選手が左中間にヒットを放つと一番安藤(一)選手と二番渡辺選手がバンドヒットを重ね、ホーネッツ守備陣のミスもあって2点を返す。しかし、その後、両チームとも得点を加えることができず、五回コールドゲームとなった。一、二回と制球は定まらなかったが、球威ある永瀨投手を打ち崩したホーネッツ打線は見事だった。(記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則)



ホーネッツ先発の井手投手。



ウインズ先発の永瀬投手。



一回表、3ランを放つホーネッツ四番三浦選手。



二回表、堺選手のHRを祝うホーネッツの選手達。



二回表、レフトオーバーHRのホーネッツ三番矢野選手。



二回表、永瀬投手を励ます今林捕手。



三回表、代打で三塁打を放つホーネッツ広木選手。



三回表、この日2本目となるHRを放った三浦選手。



三回裏、攻撃の口火を切ったウインズ九番田坂選手。



三回裏、バントヒットを放つウインズ一番安藤(一)選手。



三回裏、田坂選手が返り1点を返すウインズ。



四回表、サードゴロをさばくウインズ安藤(昌)選

奈多グラウンド 池見選手 貫録のピッチング！ 圧巻のホームラン！！

三苦フレンズ (1勝5敗0分) 00011 2 ● 山口-佐藤

奈多フェニックス (4勝1敗1分) 02211 6 ○ 池見-実延

HR: 生野(拓) (三苦フ) 池見(奈多フ) 2BH: 佐藤(三苦フ) 実延(奈多フ)

初回、2奪三振と上々の立ち上がりを見せたフェニックス池見投手。対してフレンズ山口投手は味方のエラーや死球で無死満塁のピンチを招き、四番今林英二選手に対しWP。しかし冷静に対応しホームアウトを取ると初回のピンチを0点で乗り切った。しかしフェニックスは、二回裏に下位打線でチャンスを作り一番西藤選手の先制タイムリーが飛び出すと、三回裏には池見選手のHRでフレンズを突き放しにかかる。フレンズは四回に入り二順目になった所で一番生野(拓)選手に快心の一発が出ると、三番佐藤選手にも二塁打が飛び出し一気に追いつきたい所！ではあったが後続が倒れ1点止まり。その後両者共に点を取り合うも、チャンスを実に点に結びつけたフェニックスに軍配が上がった。(記事、写真: 奈多クラブ 吉田貴史)



投打に活躍のフェニックス池見投手。



フレンズ先発の山口投手。



一回裏、WPに冷静に対応しタッチアウト。



二回裏、フェニックス一番西藤選手のタイムリーで先制。



二回裏、フェニックス今林(心)先制のホームイン。



三回裏、池見選手のHRを迎えるフェニックスベンチ。



この日猛打賞のフェニックス八番今林(心)選手。



四回表、快心の一発を放つフレンズ生野(拓)選手。



フレンズナインに迎えられる生野(拓)選手。

雁レク6 エラーとピッチャー制球難にて最終回までもつれ込む戦い！！戦いを制したのは？

塩浜ジャガーズ（1勝3敗2分）2031 6 荒木、立石▲－堀内

新町パイレーツ（2勝2敗1分）3300 6 吉田 ▲－大濱

盗塁：荒木（塩浜ジ）桐島（新町パ）

新町パイレーツ吉田投手、塩浜ジャガーズ新鋭荒木投手の先発で試合開始。一回表塩浜ジャガーズの攻撃は、一番内田選手がピッチャーエラーにより出塁、続く道喜選手の絶妙のバントヒットにより無死一二塁、ここで当たっている三番立石選手のセンター犠牲フライにより内田選手が三塁へ。続く四番佐藤選手のライト前制球タイムリーとその後もエラーにより2点目が入る。一回裏新町パイレーツの攻撃は、二番八坂選手が四球で出塁後、代わったばかりの三番大野選手がバントヒット、続いて二連続フォアボールで押し出し1点。その後も荒木投手の制球が定まらず計5四球で3点。二回裏、一回に続き荒木投手の制球が定まらず、2四球とパスボールのあと、石橋選手の一塁ベースに当たるラッキーな当たり等でこの回も3点。二回で6－2と勝負が見えてきたかに思われたが三回表、今度はパイレーツにエラー続出。内野陣の3エラーと完璧に抑えていた吉田投手の2つのワイルドピッチにより3点を献上し、遂に1点差となった。突き放したいパイレーツナインの三・四回の攻撃をジャガーズリリーフの立石選手が見事なピッチングで0点に抑えた。四回表、ジャガーズの最終回一番内田選手がショートエラーにより出塁、すかさず道喜選手の犠打、デットボールのあと、これぞ四番の仕事、一回の先制点に続き佐藤選手の同点タイムリーが飛び出し、盛りあがり最高超に！！荒木選手の三遊間ヒットで逆転をお膳立てしたが後続が倒れ引き分けに終わった。最後の最後まで何があるかわからない非常に好試合でしたがエラーとピッチャー制球難に課題の残る試合でした。（記事：ブルーマーリンズ 末松勝祝、写真：森清隆）



試合前の整列。



今日も力強いフォームのパイレーツ吉田投手。



一回裏、バントヒットの大野選手。



急な交代出場ながら好守備連発のセカンド大野選手。



二回裏、ピッチャー強襲ヒットのジャガーズ吉田選手。



三回裏、最初から二塁を狙っていた桐島選手。



四回表、同点を演出したジャガーズ二番道喜選手。



四回表、同点ホームインのジャガーズ内田選手。



四回表、ランナーを三塁に置き足の速い田中選手。



後続をぴしゃりと抑えたジャガーズ二番手立石投手。



ジャガーズ打のヒーロー、四番佐藤選手。



パイレーツ2打点の六番石橋選手。

第10週編集後記

WSLのみなさんこんにちは！

第11週、7月28日は4試合が行われました。

雁レク5の雁ノ巣ライナース対三苦三球会戦は、ライナース3安打、三球会1安打という両投手の踏ん張り合いでした。ここで試合を決める鍵になったのは、三球会二番渡辺選手の送りバント。チャンスを広げる犠牲バントがことごとく得点に結びつき1-3で三球会の勝利。渡辺選手の右打ちや送りバントといったチームのための繋ぎ役って必ず要りますよね。一試合のみの勝利ならまだしも、長いシーズンを見据えた戦いでは、「必ず要る」まさに「必要」な選手です。

青松園Aの三苦ホーネッツ対新町ウインズ戦は、ウインズ永淵投手を打ち崩したホーネッツが20-2の大勝利。ホーネッツ四番三浦選手は、3打数3安打2HR6打点とこの試合も大活躍。ここ数試合でHRを打った選手の漁夫の利で写真に写っていたホーネッツ堺選手もこの試合では自らHRを放ち、今度はチームメイトと写真に写っていました。今季5試合目での初ヒットがHRという意外なおまけつきです。

奈多グラウンドの三苦フレンズ対奈多フェニックス戦は、フェニックスは初回のチャンスを潰したものの二回から毎回得点で2-6とフェニックスの勝利。フレンズは三回まで三人ずつで抑えられていたが一番生野(拓)選手が意地の一発を放つなど四・五回で5安打を放つもここまで。初回からこの勢いがあれば・・・。

雁レク6の塩浜ジャガーズ対新町パイレーツ戦は、お互い3安打同士だったが四球とエラーで6-6の引き分け。ジャガーズ三番立石選手の後を打つ四番佐藤選手(51歳)の2打数2安打1四球の活躍が光った。一方初回から交代出場の大野選手は昨年監督を務めていたが、選手としてもまだまだいい働き。チーム一丸さが伺えた。

7月も終わり8月に入りました。

夏の甲子園は、8月8日から15日間の熱い戦いが展開されます。福岡代表は初出場の自由が丘高校。八幡西高校と九州女子大付属高校が統合した学校ですね。

プロ野球、MLB、高校野球と熱い季節になってきました。

WSLも負けないぐらい顔晴っていきましょう。